

第八十六回帝國議會 戰時森林資源造成法案委員會會議錄(速記)第一回

付託議案

戰時森林資源造成法案(小山邦太郎君外百三十五名提出)(第一號)

本委員ハ昭和二十年二月二日(金曜日)議長ノ指名ヲ以テ左ノ通選定セラレタリ

- 青山 憲三君 石樽 敬一君
- 宇田 耕一君 小田 彦太郎君
- 大橋 清太郎君 岡本 馬太郎君
- 岡本 傳之助君 加藤 弘造君
- 木下 信君 北 勝太郎君
- 北村 又左衛門君 楠美 省吾君
- 四王 天延孝君 南郷 武夫君
- 堀内 一雄君 松浦 周太郎君
- 三善 信房君 村上 國吉君

同月三日(土曜日)午前十時四十六分委員長理事互選ノ爲委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

- 大橋 清太郎君 加藤 弘造君
- 木下 信君 北 勝太郎君
- 北村 又左衛門君 楠美 省吾君
- 南郷 武夫君 堀内 一雄君
- 松浦 周太郎君 三善 信房君

〔年長者三善信房君投票管理者ト爲ル〕

○三善投票管理者 是ヨリ開會致シマス、先例ニ依リマシテ、私ガ年長ノ故ヲ以テ投票管理者トナリマス、是ヨリ委員長及ビ理事ノ互選ヲ行ヒマス

○松浦(周)委員 此ノ際投票ヲ用ヒズ、委員長ニハ木下信君ヲ御推薦シタイト思ヒマス、御諮リ願ヒマス

意見ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○三善投票管理者 ソレデハ御異議ナシト認メマス、仍テ木下信君ガ委員長ニ御當選ニナリマシタ、木下君ニ此ノ席ヲ御譲リ致シマス

〔拍手起ル〕

〔木下信君委員長席ニ着ク〕

○木下委員長 一言御挨拶ヲ申上ゲマス、只今ハ皆様ノ御推舉ニ依リマシテ委員長ノ席ヲ汚スコトニナリマシタ、私斯カル仕事ニハ洵ニ不慣レデゴザイマスノデ、特ニ皆様ノ御援助ヲ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス

○松浦(周)委員 理事ハ其ノ數ヲ三名トシ、委員長ニ於テ御指名アラソコトヲ望ミマス

○木下委員長 別ニ御異議ガナイト認メマス、ソレデハ私ヨリ御指名ヲ致シマス

- 大橋 清太郎君 岡本 馬太郎君
- 松浦 周太郎君
- 以上三名ノ方ニ理事ヲ御願ヒ致シマス

同日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 木下 信君
- 理事 大橋 清太郎君 理事 岡本 馬太郎君
- 理事 松浦 周太郎君
- 岡本 傳之助君 加藤 弘造君
- 北 勝太郎君 北村 又左衛門君
- 楠美 省吾君 南郷 武夫君

- 堀内 一雄君 三善 信房君
- 村上 國吉君
- 出席國務大臣左ノ如シ
- 國務大臣 緒方 竹虎君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 內務政務次官 武知 勇記君
- 內務省國土局長 宮村 才一郎君
- 農商參事官 長野 高一君
- 農商省山林局長 鈴木 一君
- 委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
- 農商技師 花田 乾助君
- 議員 小山 邦太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

戰時森林資源造成法案(小山邦太郎君外百三十五名提出)

○木下委員長 審議ニ入りマス前ニ一言御協議ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、御承知ノ如クニ會期ハマダ既定ノ日ハ澤山アルノデアリマスガ、略ニ聞キマス二月ノ上旬アタリニ自然休會ニナルヤウナ情勢モ承ツテ居リマス、隨テ此ノ議案ハ適當ト認ムルナラバ、成ベク早く通過ヲ致シタイト云フヤウナ考ヘヲ持ツテ居リマス、御承知デハアリマセウガ、議會開設以來議員提出ノ議案デ兩院ヲ通過致シマシテ成立シタモノガ、二百五十八件ニ及ソデ居リマスルガ、最近ニ於キマシテハ議員提出ノ議案デ成立シタモノハ洵ニ寥寥タルモノデアリマシテ、第七十一回帝國議會ニ一法案、第七十三回帝國議會ニ一法案、其ノ二ツガ最近ニ於キマシテ成立致シテ居リマスルガ、七十四

帝國議會以後ハ、一回モ議員提出ノ法案ガ成立ヲ致シテ居ラナイ狀態デアリマシテ、或ル意味カラ言ヒマスト洵ニ遺憾ノヤウナ感ジガ致シマス、若シモ時ノ關係デ此ノ法案ガ不成立ニナルト云フヤウナコトガアリマス甚ダ遺憾デゴザイマスノデ、出來ルダケオ互ヒニ質疑等モ重複致サナイヤウニジテ早く委員會ヲ通シ、適當ナリトスレバ本會議ニモ提案ヲ願ツテ通過ヲ致シタイ、斯ウ云フヤウナ希望ヲ持ツテ居リマスノデ、ドウカ此ノ點ニ付テ格別ノ御協力ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

理由ノ御説明ヲ求メマス

○小山邦太郎君 提案者ト致シマシテ簡單ニ提案理由ノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、ソレニ先ダチマシテ、此ノ法案ノ爲ニ獨立ノ特別委員ヲ設ケラレ、特ニ御審議ヲ願フコトニナリマシタコトハ、提案者トシテ深ク御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス、理由ハ昨日本會議デ大體御説明申上ゲマシタカラ、成ベク其ノ重複ヲ避ケタイト存ジマスノデ、他ノ角度カラ申上ゲタイト思ヒマス

此ノ法案ノ狙ヒハ勿論造林ノ普及及徹底ニアルノデアリマス、ナゼ戰時ト名ツケタカ、造林ノ普及及徹底ハ平時ニ於テモ計畫サレテ居ルコトデアツテ、既ニ獎勵費トシテ一般會計ニ於テ本年度モ千三百萬圓ノ造林補助費ガ、計上サレテ居ルヤウナ次第デゴザイマスルガ、最近ノ伐採狀況ヲ見マスルト、木材其ノ他山林資源ガ直接戰力増強ノ

上ニ重大ナル使命ヲ擔ツテ居ルト云フコトカラ、年々其ノ量ハ増エマシテ、支那事變ノ當初ニ於テ伐採面積ハ約四十五、六萬町歩デアリマシタモノガ、昭和十八年度ニ於キマシテハ七十五萬町歩ヲ突破スルニ至リマシタ、十九年ハ更ニ増シ二十年ハ又驚クベキ面積ニナルト思フノデアリマス、而シテ現ニ造林ニ對スル獎勵ハ致シテ居ルモノ、努力不足等ノ關係モアリ、又其ノ後造林費ノ増嵩諸經費ハ一般物價ノ値上リノ影響ヲ受ケマシテ、造林費ガ非常ニ嵩ムヤウニナリマシタ、其ノ結果カ、昭和十三年ニ四十七萬町歩ヲ伐採シタ中、人工造林ハ僅カニ十萬町歩ヲ出デナカツタデアリマス、十五年ハ稍多クナリマシテ、十五萬六千町歩カ存ジマスルガ、十六年ハ又減ジ十七年ハ七十七萬餘町歩ノ伐採面積ニ對シ更ニ減ジマシテ僅カニ十二萬町歩トナリマシタ、戰時戰力ノ増強ノ爲ニ山林資源ヲ惜氣モナク供出シナケレバナライ、隨テ伐採面積ハ年ト共ニ殖エル、然ルニ物價ノ影響等ノ關係カラ、人工造林面積ハ之ニ比例シナイ、從テ其ノ儉放任シテ置キマスナラバ、其ノ災害ハ實ニ恐レベキモノガアル、伐採モ戰時非常伐採ヲ行フノデアルカラ、是ガ跡地ノ整備ニ對シマシテ、植林造林ノ施業モ戰時ノ計畫ヲ立テルノ必要ガアル、此ノ狙ヒカラ戰時森林資源造成法ト名ツケタ次第デアリマス

然ラバ其ノ造林計畫ハ直チニ之ヲ行フノカ、直チニ行フコトナラバ別ニ法律ニ依ラナクモ豫算額ヲ増加スレバ解

決シ得ベシト言ハル、デアラウ、其ノ  
通りデゴザイマスガ、直チニ多量ノ勞  
力ヲ此ノ廣大ナル伐採面積全體ニ振リ  
向ケルト云フコトハ、今日ノ勞務事情  
カラ致シマシテ到底困難デアラウト思  
フ、強ヒテ之ヲ行ヘバ、他ノ當面ノ戰  
力増強ノ上ニ、重大ナル惡影響ガアル  
ト云フ考ヘモ起リマス、サレバト云ツ  
テ、何等ノ施策モナク其ノ儘放置シテ居  
ツテ宜シイカト云フト放任ハ近時ノ災  
害事情ヨリスルモ絕對ニ出來ナイ、即  
チ茲ニ著目シテ工夫スル所ノアツタノ  
ガ此ノ法律デアリマス、即チ非常伐採  
ニ依ツテ山林所有者ニハ相當ノ所得ガ  
入リマスガ、其ノ所得ノ一部分ヲ次ノ  
再生産ノ爲ニ山ニ釘付シテ山へ返ス、  
其ノ返シ標準ハ何ニ依ルカト言ヘバ、  
造林費ノ半額ヲ先ヅ返ス、其ノ山へ返  
ス方法トシテハ何處ヘ持ツテ行クカト  
云フト、中央金庫ニ持ツテ行ク、中央  
金庫ニ持ツテ行クト中央金庫ハ其ノ受  
入レタ金額ニ倍額スル所ノ證券ヲ出ス、  
其ノ證券ヲ、造林ノ目的トシテ造林費  
ノ半額ヲ納付致シマシタル山林所有者  
ニ渡ス、渡サレタ其ノ證券ヲ以テ造林  
者ハ、其ノ後ノ勞務ノ狀況ニ見透シテ  
付ケナガラ、造林ニ當ルト云フノデア  
リマスカラ、一應ハ直チニ跡地ニ造林  
スベキモノヲ造林シ得ルニ足ルダケノ  
經濟計畫ト云フモノヲ立テ置イテ、  
サウシテ事情ノ許ス限リ近キ將來ニ於  
テ勞務ノ狀況ヲ睨ミ合セナガラ造林ヲ  
行フト云フノデ、即チ勞務上ノ調整ヲ  
圖リナガラ、跡地ノ生成綠化ニ役立タ  
シメタイト云フノガ、此ノ法案ノ狙ヒデ  
ゴザイマス、然ラバ造林者カラハ造林  
費ノ半額ヲ受ケ、倍額ノ證券ヲ渡シテ、  
サウシテ造林著手ノ場合ニハ著手及ビ  
手入完了ノ後金額ヲ渡スノデアルカラ、

サスレバ其ノ納入スル倍額ニ相當シタ  
金額ハ何ヲ財源トシテ拂フカト云フト、  
中央金庫ハ政府ノ補償ニ依ツテ支拂ヒ  
マスノデ、即チ證券ノ半額ダケハ政府  
ノ負擔ニナル、言換ヘレバ、政府ガ半  
額ノ造林補助ヲ證券ヲ通ジテ約束スル  
ト云フコトニ相成ルノデアリマス、是  
ガ一般會計ニ依ル普通ノ補助制度ト違  
フ所デアリマシテ、普通ノ補助ノ制度  
デ行クナラバ、年内ニ之ヲ行ハナケレ  
バ其ノ補助金ハ役立タナクナツテシマ  
フ、翌年ニ繰越スコトハ出來ナイ、新  
タニ又翌年ノ豫算ニ依ツテ行フノデア  
ルガ、此ノ法案ノ實施ニヨリ證券ヲ通  
ジテ政府ノ補助額ヲ約束サレル、其ノ  
モノハ來年行ツテモ再來年行ツテモ其  
ノ後ノ勞務ノ狀況ニ依ツテ之ヲ行フコ  
トヲ許サレテ居ル、其ノ後行ヒマシテ  
モ、確實ニ補助金ヲ受入レラレルト云フ  
所ニ非常ナ力ガ出テ來ルト存ズルノデ  
ゴザイマス、然ラバ豫算關係ニ於テド  
ウ云フ影響ガアルカ、恐ラク是ハ豫想  
ニ過ギマセヌガ、十三年カラ十八年マデ  
ノ人工造林ハ少イ時ガ十萬町歩、多イ  
時ガ十五萬町歩ヲ俾カニ超エタバカリ  
デアリマス、平均十二、三萬町歩ト存  
ジマス、從來ノ補助制度ヲ以テ致シマ  
シテモ十二、三萬町歩ハ、十三年カラ  
十八年ノ間ニハ出來タ、併シナガラ  
今後ハ非常ニ多ク伐採ヲ致ス  
ケレドモ、其ノ植樹ハ寧ロ却  
テ逆ニ減ルデアラウ、何トナレバ今後  
一層手不足ニナル、一層費用ガ嵩マル  
ト云フコトニナルカラ著シク減ルデア  
ラウト思フ、然ルニ此ノ際此ノ法律ガ  
成立致シマスラバ、私ハ造林意欲ハ  
著シク昂揚致シマシテ、恐ラク一年ニ  
二十萬町歩位ノ造林計畫ハ立ツノデハ  
ナイカト思フノデアリマス、假ニ二十

萬町歩ノ人工造林ガ出來ルト致シマス  
レバ、私共ノ見込ト致シマシテハ、植  
栽費ニ二百圓、ソレカラ其ノ後ドウシ  
テモ新植ヲ致シタダケデハ育成ガ十分  
ニ行キマセヌノデ、此ノ育成ノ爲ニ二、  
三年間ノ手入ヲ致ス、其ノ手入費ト  
云フモノヲ此ノ度ハ補助ノ中ニ加ヘタ  
イ、隨テ植栽費ニ二百圓、手入費ニ百  
五十圓、合セテ三百五十圓ト云フモノ  
ヲ一町歩ノ造林費トシテ計算致シタイ  
ト思フノデアリマス、サウスレバ一町  
歩三百五十圓、之ニ二十萬町歩ヲ乘ジ  
マスレバ、其ノ總額ハ七千萬圓デゴザ  
イマス、外ニ天然造林凡ソ三十萬町歩  
ヲ見込ミマシタ、天然造林ハ御承知ノ  
通り植栽ニ依ルモノニアラズシテ、自  
然ニ種ガ播カレテ自然ニ生エル、併シ  
ナガラ之ニモ手入ヲ致シ補修ヲ致ス  
ヤウニ致シマスレバ、此ノ天然ノ木モ  
育チ方ガ著シク違フ、育成ヲ促進スル  
コトニナリマスルノデ、補修費トシテ  
一町歩九十圓ヲ見積ツタノデアリマス、  
サウスルト其ノ補修費一町歩九十圓ヲ  
見込ミ、天然造林面積三十萬町歩ニ乘  
ジマスレバ、二千七百萬圓デゴザイマ  
ス、此ノ天然造林補助費ノ二千七百萬  
圓ト、人工造林ノ七千萬圓ヲ加ヘマス  
ルト九千七百萬圓ニナリマシテ、其ノ  
半額ヲ造林者ガ出シ、其ノ半額ハ政府  
ノ負擔ニナルト云フコトニナルノデア  
リマス、隨テ政府ノ負擔ハ我々ノ見込  
通りニ參リマシテモ、四千八百五十萬  
圓デ足リルト思ヒマス、併シナガラ此  
ノ四千八百五十萬圓ハ、然ラバ此ノ法  
律ガ成立シタ時ニ、二十年度ニ於テ必  
要デアルカ、ソレハ必要ナイト思ヒマ  
ス、ナゼナレバ自然造林ノ補修費一町  
歩當リ九十圓ト云フモノハ、其ノ年ニ  
ヤルノデナクシテ、三、四年間ニ互ル

手入レノ狀況ヲ見タルノデアリマス  
カラ、是ハ恐ラク五年目ニ於テ起ル間  
題デアル、人工造林ノ方モ百五十圓ノ  
手入費ト云フモノガアリマス、手入費  
ハ是レ亦三、四年間ノ手入ヲ見積ツ  
テ居リマスノデ、三年間ノ手入ヲ完成  
ノ後二百五十圓ト云フモノハ支拂フコ  
トニナリマス、カラ、自然政府ノ負擔ト  
云フモノハ、恐ラク當初ニ於キマシテ  
ハ當年度ノ一般會計ニ計上セラレタ程  
度ノモノデ賄ヘルデアラウト存ズルノ  
デアリマス、併シナガラ此ノ造林費  
ハ然ラバ是デ足リルカ、此ノ點ハ將來  
物價ノ騰貴、其ノ他ノ關係ト睨ミ合セ  
マシテ自ラ固定スルモノデアリマセ  
ヌガ、是ハ獨リ山林ノ補助ニノミ考慮  
スベキコトニアラズシテ、財政計畫全  
體ノ上ニ、物價高ト云フモノハ考慮ス  
ベキモノデアルト思ヒマス、是ノ  
ミニ特別ナ考慮ハ要ラナイデアラウ、  
斯ウ考ヘルノデアリマス、斯クノ如ク  
致シマス、此ノ法案ニ依リマシテ、  
造林面積ガ著シク増加スレバスルニ從  
ツテ、政府ノ負擔ハ多クナルノデアリ  
マス、ケレドモ、ソレハ寧ロ喜ブベキコ  
トデアル、若シ此ノ法案ニ依リマシテ  
只今申シマシタ二十萬町歩ト、三十萬  
町歩、合セテ五十萬町歩程度デアルナ  
ラバ、從來ヨリハ其ノ面積ヲ非常ニ殖  
ヤシナガラ、其ノ負擔ハ僅カニ四千八  
百五十萬圓、大ザツバニ言ヘバ五千萬  
圓以內デ日本ノ非常伐採ニ依ル濫伐、  
過伐等ヲ認ヘラレテ居リマス山林ノ調  
整ノ爲ニ、將來日本ノ山林ガ其ノ資源  
ニ於テ培養セラレ、國土保全ノ保證ガ  
付キ、治山治水ノ見地カラ洵ニ喜ブベ  
キ好結果ヲ招來スルデアラウト思フ故  
ニ、是ハ何トカ一ツ御賛成ヲ願ヒマシ  
テ、此ノ法案ノ通ルヤウニ御力ヲ願ヒ

タイ、斯ウ云フ考ヘカラ敢テ此ノ法案  
ヲ提出致シタ次第デアリマス、繰返シテ  
申シマスガ、此ノ法案實施ノ細目ニ付キ  
テハ大體ニ於テ命令事項ヲ以テ致スコ  
トデアリマスガ、省令デ致スナラバ、  
從來ノ補助制度宜イデヤナイカ、斯  
ウ云フ御議論ガ一應出ヤウト思ヒマス  
ケレドモ、ソレハ年々決マリ付ケテ  
行カナケレバナラナイ一般會計ニ依ル  
補助制度デハ、今日ノ勞務關係カラシ  
テ到底其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナ  
イ、將來ノ勞務ヲ見透シナガラ、造林ノ  
機動性ヲ發揮セシムル爲ニ、一ハ造林  
者ノ負擔ヲ確定シ、一ハ之ニ對スル政  
府ノ補助ヲ證券ヲ通ジテ約束スル、サ  
ウシテ何時タリトモ實施シ得ル財政經  
濟的ノ用意ガ出來ル、勞務關係ノ見透  
シガ付ケ限リ、何時デモ手ヲ著ケ得ル  
ト云フ機動性ヲ持タセタル計畫ヲ樹立  
致シマス點ニ於テ、此ノ法案ノ狙ヒガ  
アルト云フコトニ特ニ御諒承ヲ願ヒタ  
イト思ヒマス、大體申上ゲル所ハ此ノ  
程度デアリマス、尙ホ足ラナイ所ハ多  
クノ提案者ガイラツシヤイマスノデ、  
他ノ方々カラモ御説明ヲ申上ゲルコト  
ニ致シタイト思ヒマス

○松浦周委員 只今小山君カラ提案  
ノ理由ヲ色々御説明ニナリマシタガ、  
私共提案者トシテ此ノ法案ヲ審議スル  
上ニ政府ノ少シ御尋ネシテ見タイト思  
フノデアリマスガ、提案者ノ今ノ説明  
ノ中ニ、此ノ法案ノ狙ヒハ勞務ノ機動  
性ニ勞務ノ都合ノツク時ニ造林スル  
ト云フ所ニ狙ヒガアルノデアリマスガ、  
今モ此ノ法案ヲ通スコトニ依ツテ林業  
者ノ造林意欲ヲ唆ツテ二十萬町歩位ヅ  
ツ殖エテ行タデアラウト云フ風ヲ説明  
デアリマシタガ、固ヨリ此ノ案ヲ出ス  
ニ至ツタト云フコトハ、森林業者ハ植

エル爲ノ必要トスル費用ヲ支出スルコトハ、現在ノ財政狀況デハ出來ルガ、ソレヲ植エントスル勞務ノ逼迫カヲ、之ヲ必要トスルコトニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、戰爭ノ時ニ造林ヲシテ行クト云フコトハ中々困難ナコトデアリマスケレドモ、日本ノ國ノヤウニ脊梁山脈ガ眞中ニ通ツテ居リマシテ、馬ノ背ノヤウナ所ニ急流ナ河川ガ放出シテ居リマシテ、一たび雨ニ曝サレト洪水ガ出ルコトハ日本ノ今マデノ繰返シテ來タ歴史ガ物語ツテ居リマス、ソコニ又戰爭ノ必要トスル資材ヲドン／＼伐採シテ參リマスカラ、自然國土ガ荒廢ニ導カレテ行ク、同時ニ伐採シテモ古イ根ガ残ツテ居ルナラバ、マダ四、五年ハ保ツテ行カレルノデアリマスガ、伐採シテ直後、又數年經ツタ松根ヲ戰爭資材ノ爲ニ掘リ出スト云フコトニナリマス、二層山崩レガ頻出致シマシテ、治山治水ノ保證ガ全然ツカヌ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソコデ私ハ勞務ノ窮迫ノ裡ニモ出來ル限リヤハリ造林ノコトヲ忘レテハナラス、斯ウ云フコトカラ昨年モ議會ニ森林ト國土計畫ノ作定ニ付テ建議案ヲ出シタヤウナ譯デアリマス、又本議會トシマシテモ特別建議案ヲ出シマシテ治山治水ノコトニ付テ本會議デ之ヲ決議シタコトニナツテ居リマス、ソレデ此ノ法案ガ出テ參ツタノデアリマスガ、政府ノ方ト致シマシテ斯ウ云フ狀況ニ於テ、年々ドレデケノ造林ヲシテ居ラレカト云フコトデアリマス、此ノ間ノ豫算總會ニ一千萬圓ノ造林費ヲ云々ト云フ答辯ガゴザイマシタガ、只今提案者ノ説明ノ中ニ色色數字モ羅列シテ居リマスケレドモ、實際民有林ガ幾ラ伐採セラレ、幾ラ植

林サレテ居ルカ、或ハ國有林其ノ他官有林、公有林ガドウ云フ狀況ニナツテ居ルカト云フ數字ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、同時ニ私ハ提案者ノ説明ニアリマシタヤウニ、今後造林者ノ意欲ガ増シテ行クナラバ、二十萬町歩造林ガ殖エテ行クト云フ勞務ニ對スル計畫ハ政府ハ如何ナル方法ヲ執ツテ居ラレカ、昨年議會ニ於キマシテ色色質問致シマシタ時ニ、工場ノ緑化、或ハ神社、並木、屋敷林ノ緑化、其ノ他大都市近郊ニ於ケル平地林伐採ニ對スル緑化、凡ユル手ヲツケルト云フコトヲ言明セラレマシタガ、今日森林ヲ造成シヨウト思フ附近ハ、食糧生産ノ爲ニ勞務ヲ供給スルコトハ困難ナ情勢ニ置カレテ居リマス、私ハドモマデモ此ノ植林ヲシテ行クト云フコトニナルナラバ、勞務ヲ、國民學校ヲ動員スルナリ、或ハ大都市ノ市民ヲ動員スルナリ、其ノ他ノ方法ニ依ツテ、農村勞務ヲ直接ニ取ラナイデ、國ガ必要トスル最少限度ノ手當ヲシテ行カナケレバナラヌデアリマス、思フノデアリマスガ、是等ノ勞務計畫ニ付テドウ云フ方法ヲ執ツテ居ラレカ、殊ニ私ハ森林ノ造成ニ對シテハ、何シト云ツテモ勞務ガ中心デアルト思ヒマス、國ノ需要ニ應ジ切レナイ程ニ要求サレテ居ル伐採ニ對シテ、伐採ノ勞務スラモ今日足ラヌト云フ時デアリマスカラ、造林ヤルト云フコトハ中々困難デアリマスガ、其ノ勞務計畫ニ對シテ、如何ナル方法ヲ執ツテ居ラレカト云フ點デアリマス

治山、治水ヨリ起ル水害ノ頻出、其ノ他國土保安ニ缺クヤウナコトガ非常ニ多クナツテ來ハセヌカト云フノデ、昨年度ノ水害ノ狀況ガ從來ノ歴史ニ間フナラバ何年度位ニ該當シテ居ルカ、詰リ植伐均衡ヲ失シテ以來、水害ノ頻出量ガ多クナツタノデハナイカト云フ點ニ國土保安ニ缺ケタ點ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○鈴木(一)政府委員 只今造林ニ付テ國トシテノ位ノ實效ヲ擧ゲテ居ルカト云フ御尋ネガ一點ゴザイマシタ、次デ勞務ニ付テドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、御説ノヤウニ造林ハ戰爭ニナリマシテ以來、段々實績ガ擧ツテ居リマセヌ、ソコデ植伐ノ均衡ガ取レナクナリマシテ、十九年度カラ十箇年計畫ヲ以テマシテ、舉國造林計畫ト云フモノデ出發ヲ致シマシタコトハ御話ノ通りデアリマス、二十年度ニ於キマシテモ一千餘萬圓デアリマシタカ豫算ヲ以テマシテ、既ニ御協賛ヲ經テ次第デアリマスガ、政府ト致シマシテハ、本造林計畫ニ對シマシテ、是ガ非デモ貫徹シヨウト云フコトデ邁進ヲ致シテ居リマス、御質疑ノゴザイマシタ造林ノ數字デゴザイマスガ、民有林、公有林分ケテゴザイマスガ、一應合計ダケ申上ゲテ御參考ニ供シタイト存ジマス、造林ヲ致シマシタ面積ハ二年ヲ取ツテ見マスト五萬一千九百町歩ニナツテ居リマス、十三年ハ六萬六千町歩、十四年ガ八萬三千町歩、十五年ガ八萬九千町歩、十六年ガ十一萬六千町歩、十七年ガ十萬二千町歩、十八年ガ十三萬八千町歩、十九年ガハ見込デアリマスガ、大體十三萬町歩程度デハナイカト云フコトニナツテ居リマス、戰爭以來造林面積ガ十二年當時カラ較ベマシテ

倍以上ニナツテ居リマスガ、伐採面積ノ方ガ相當殖エテ居リマスノデ、造林ガ是レデケ倍以上ニ殖エマシテモ尙ホ足りナイト云フ實情デゴザイマス、ソレカラ造林ニハ御話ノヤウニ勞務ト云フモノガ附キ物デゴザイマスガ、勞務ニ付キマシテハ、植林ノ時期ハ、大體御承知ノヤウニ春ノ四月ヲ前後トシテヤルノガ一番宜シイノデアリマスガ、是等ノ時期ニ、農山村ノ勞務ヲ特ニ擧童デアルトカ、女子供デアルトカ、サウ云フ人達デモ全村擧リマシテ、山ニ入ツテ貰ツテ、植林ヲスルト云フノガ山村ノ慣ハシニナツテ居リマスガ、是等ノ方向ニ益、勞務ノ給源ヲ求メザルヲ得ナイノデアリマシテ、我々ノ方ノ指導ト致シマシテハ、サウ云フ方向ニ向ヒマシテ、所謂農山村ノ底力ヲ造林ノ方ニ結集ヲシテ行クト云フ體制ヲ進ンデ居リマス、隨ヒマシテ、都會地カラ山(大量ニ人ヲ運ンデ、造林ヲサセルト云フコトハ、山ノ近イ都市附近デゴザイマスレバハ可能デゴザイマスガ、何ニ致シマシテモ都會地カラ相當遠イ山ガ多ウゴザイマスノデ、サウ云フ面モ出來ル限リハ勸奨致シテ居リマスガ、實際ノ數量カラ致シマシタナラバ、是レ亦中々難カシイ、實效ノ擧リ得ナイ方法ト存ジマス、アレヤ是ヤ出來ルダケノ努力ヲ此ノ植林ノ時期ニ結果ヲシテヤラセルト云フ方向ヲ指導致シテ居リマス、縣ニ依リマシテハ地方長官初メ、非常ニ熱心ニ勞務ヲ其ノ時期ニ集結シテヤツテ戴イテ居ルト云フ地方モ相當アルノデゴザイマス、一番問題ハ勞務ト存ジマス、我々ノ方ニ於キマシテモ、豫算ヲ協賛ヲ經マシタ面積ガ、果シテ其ノ數字ノ通り出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、中々困難

ナ點モアラウカト思ヒマスガ、極力ヤル積リデゴザイマス、先程申上ゲマシタ數字モ、十九年度ハ十五萬町歩ヤルト云フ計畫ニ一應ナツテ居リマスガ、申上ゲマシタヤウニ十三萬町歩程度シカ行カナイノデハナイカト云フヤウナ風ニモ考ヘラレル次第デアリマス

○松浦(局)委員 伐採ノ方ハドノ位ノ面積ニナツテ居リマスカ、其ノ純増ノ比率ヲ伺ヒタイ

○鈴木(一)政府委員 伐採ノ方ハ今此處ニ數字ヲ持合セテ居リマセヌガ、御承知ノヤウニコ、一二年ノ所ハ大體同ジヤウナ數字デ行ツテ居リマス、其ノ前十五年ノ時代ト只今ト比ベマスガ、十四五年ニ比ベマシテ、現在ニ於キマシテハ、伐採面積カラ申シマスト四割程度餘計伐採ヲ致シテ居リマス、石數ノ方カラ申シマス、ソレ程開キハゴザイマセヌ

○宮村政府委員 只今松浦委員カラ御尋ネニナリマシタ最近ノ森林ノ過伐ト災害ノ關係ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、御承知ノ通り國土保全、國力培養ノ上ニ於キマシテ、治山、治水ガ最も必要デアリマスコトハ、我が國ノ地勢上カラ考ヘマシテ、又過去ノ古イ慣ハシ、實績等ヲ考ヘマシテ、是ハ私共ガ豫テ力ヲ入レマシテ、皆々御協力ヲ得テ、各種ノ施策ヲ實行シテ居ル所デ明カナノデアリマス、最近時局ノ要請ニ應ジマシテ、森林伐採ガ、重點的ニ、又數量ニ於キマシテモ、非常ニ多クナリマシタ關係ガ、確カニ一ツノ大キナ原因ヲナシマシテ、最近ノ災害ガ、其ノ分布ニ於キマシテモ、其ノ量ニ於キマシテモ、非常ニ増シテ來テ居ルモノガアルノデハナカ

ラウカト云フコトハ、是モ亦齊シク認  
メラレル所デアリマス、私共モ確カニ  
ソレガ一ツノ大キナ原因ヲナシテ居ル  
ノデハナカラウカト云フコトヲ實ハ考  
ヘテ居ルノデアリマス、最近ノ事例ヲ  
申シマス、近年ノ災害ハ、御承知ノ  
如ク昭和九年、十年、十三年、十六年  
ト云フヤウナ年ガ激シカッタノデアリ  
マス、大體今マデハ三年置キ位ニ大キ  
ナ災害ガアツタノデアリマスガ、昭和  
十六年以降ハ實ハ連年大災害ガ續イテ  
居リマシテ、私共ノ方ノ直接關係シテ  
居リマス水害其ノ他ノ面カラ申シマス  
ト、昭和十六、十七、十八、十九年ト  
漸次災害ノ度ガ増シテ參リマシテ、殊  
ニ十九年、詰リ本年度ノ災害ハ近來ニ  
ナイ廣範圍ニ互リマシテ、全國三十數  
道府縣ニ互リ其ノ被害額モ莫大ナモノ  
デアリマス、内務省關係ダケデモ、災  
害復舊費並ニ對策費ト致シマシテ、約  
一億五千萬以上ノ國費ヲ要スルヤウナ  
實情ニナツテ居リマス、ソレハ今年  
モ追加豫算、豫備金其ノ他國費ノ支出  
ヲ見テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ  
ヤウナ觀點カラ致シマシテ、何ト致シ  
マシテモ山ニ木ヲ植エ、私共ノ關係デ  
申シマスレバ、川ノ上流ヲ砂防デ治メ、  
下流ヲ改修シテ行クト云フ、此ノ一體  
的ナ施策ガ實行セラレナイ以上ハ、何  
ト致シマシテモ、災害防除ニ萬全ヲ期ス  
ルコトガ出來ナイ、斯様ニ考ヘテ居リ  
マス、殊ニ一番源デアリマス山嶽地帯  
ニ木ヲ植エルト云フコトハ、最近ノ森  
林伐採ノ狀況カラ考ヘマシテ、何ト致  
シマシテモ第一條件、是ナクシテハ如  
何ニ砂防ニ力ヲ盡シ、河川改修ニ力ヲ  
盡シマシテモ、災害ノ頻發増大ハ免レ  
得ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

聽キタイノデスガ、時間ガアリマセヌ  
カラ、現在民有林ノ造林ニ付テ反當リ  
幾ラ位ニ御見積リニナツテ居ラレマス  
カ、其ノ他官有林ノ方面ト、民有林ノ  
方面ト造林費ノ比率、ドツチガ餘計掛  
ルカト云フコトデスネ、官有林ハ幾ラ  
位掛ツテ、民有林ハ幾ラ位掛ツテ居ル  
ト云フヤウニ御示シテ願ヒタイ、大體  
造林費ノ見積リノ内容ヲ一ツ御示シ願  
ヒタイと思ヒマス

○鈴木(一)政府委員 人工植栽ノ方ノ  
民有林ノ豫算ノ單價ト致シマシテハ一  
町歩百二十圓、官行ノ方ハ六體二百五  
十圓程度ト云フモノヲ見テ居ル譯デア  
リマス

○岡本(馬)委員 私ハ此ノ戰時森林資  
源造成案ニ付キマシテ、是ガ成文化シ、具  
體化スルナラバ、相當造林意欲ハ昂揚  
スルモノト信ズル一人デアリマスガ、只  
今小山サシヤ松浦サシカラ色々適切ナ  
ル御質問ガアリマシタカラ、重複ヲ避  
ケマシテ、他ノ方面カラ、此ノ法案ガ  
具體化シテモ必ズヤ私ハ現在伐採跡ノ  
造林ハ旨ツ行カ行カスカ疑問ヲ持ツ  
ノデアツテ、ソレニハ先ツ努力ノ調整  
ト云フコトガ根本デアリマス、元來皆  
樣御承知ノ通り、山林經營ノミデ農家  
ガ生活シテ居ル地帯ハ殆ドナイノデア  
リマス、農業ト森林トハ相立行シテ進  
ンデ行ツテ居ルノデアリマス、現在農  
業會ガ食糧ノ生産ト集荷ト配給ニ嚮ラ  
ニ邁進シテ居リ、ソレト同様ニ市町村  
森林組合モ製炭、木材ノ伐採、供出ニ  
血ミドロニナツテヤツテ居リマスガ、  
併シ茲ニ相當オ互ヒガ考ヘネバナラヌ  
問題ガアル、ソレハ即チ努力ノ調整デ  
アリマス、食糧ノ生産集荷ノ時期ト、  
森林ノ伐採及ビ木炭ノ生産集荷ノ時期  
トハ、自ラソコニ時期別ガアリマスガ、

其ノ努力ノ調整ガ中々巧行キマセヌ  
ト言ヒマスノハ、元來森林ノ所有者、  
山林ヲ經營スル人ハドノ地方デモ農業  
者トシテハ中産階級以上ノ人デアリマ  
ス、隨テ努力關係ニ於テ決戰下ノ今日  
ニ於キマシテハ、殆ド若シ者ハ農山村  
ニハ居ナイノデアリマス、木ヲ伐ル  
者、或ハ炭ヲ燒ク者、運搬スル者ニ力  
ノアル者ハ恐ラクドノ地方モ少イと思  
ヒマス、故ニ此ノ案ガ具體化シマシテ  
モ、努力ノ根本的ノ調整ヲ圖ル必要  
ガアルト思ヒマス、ソレハ先般四國四  
縣デ府縣農業會長會議ガアリマシタ  
ガ、四國四縣ノ地勢風土ノ關係カラ申  
シマシテ、森林ダケデ立ツテ居ル家ハ  
ナク、農業ダケデ立ツテ居ル所ハナ  
イ、即チ農林ハ一體ノ仕事トシテヤツ  
テ、之ニ力ヲ入レテ居ル關係上、  
セメテ市町村ダケデモ、農業會ト森林  
組合ト一體化スルコトニシナイト、  
造林ノ計畫モ、製炭ノ關係モ、運搬ノ  
關係モ、都合好ク行カスノデハナイカ、  
ドウシテモ四國四縣デハ農業會ト森林  
組合ハ一體化シテ運營スルヤウニスル  
ノガ、今日戰時下ノ農林ノ仕事ガ極メ  
テ迅速果敢ニ運ベル素因ニナリハセヌ  
カ、ト云フ話ガアツタノデアリマス、  
私ハ多少森林ヤリ、食糧生産ヤリ  
テ居リマスガ、其ノ季節々々ノ努力ヲ  
農業會カラ森林組合ニ振り向ケ、又其  
ノ逆ニスルト云フヤウニシマセヌト、  
森林組合ガアツタリ、農業會ガアツタ  
リシテ、ウマク行カナイ點ガ少クナイ、  
斯様ナコトハ、此ノ委員會デ申上ゲル  
ノハドウカト存ジマスケレドモ、少ク  
トモ政府ハ決戰下ニ於ケル食糧生産ト、  
森林造成ト云フコトニ付テハ根本的ニ  
考ヘテ行ク必要ハナイカト思ヒマス、  
ソレニ付テ第一當局ノ方ガ、農林ハ

一體化シテ行カケレバナラヌト云フ  
コトハ今申シマシタガ、指導機關ガ根  
本的ニ一體化シナイト、ソコニ自ラ能  
率ガ上ガラヌコトニナツテ居リマス、  
之ニ對シテ何カ御考ヘガアリマスカ、  
御伺ヒ致シマス、モウ一ツハ戰力化ノ  
爲ニ總テ根コソギ動員デヤツテ居リマ  
スガ、御承知ノ通り針葉林ノ杉、檜ハ  
三十年乃至五十年經テナケレバ伐採時  
期デハナイ、然ルニ二十年乃至二十五  
年デ伐採命令ガ來テ杉林ヲ伐採スルト  
云フ、此ノ際ニ於テ生産者ガドウ云フ  
氣持ヲ持ツカ、モウ五年、七年向フニ  
ナレバ此ノ材ガ倍モ三倍モ經濟價值ガ  
上ガツテ來ルノデアル、オ國ノ爲ニ、  
決戰ノ爲ニ、伐採命令ガ來タカラ今伐  
ツテシマフト云フコトハ實ニ可哀サウ  
ナ氣ガスル、其ノ幼樹林ヲ伐採スル時  
ニハ、其ノ指導者、監督者ハ或ル程度  
間伐ナリ擇伐ナリニシテ、皆伐ヲシテ  
シマフト云フコトハ避ケテヤルノガ、  
造林經營上極メテ適切ナ方法デハナイ  
カト思フ、現在ノヤウニ二十年ヤ二十  
五年ノ杉林ヲ根コソギ切ツテシマフト  
云フコト、或ル程度補償ハアルガ、ソ  
レダケデハ濟マサレナイノデ、此ノ點  
ヲ政府ハ、考ヘラレテ居ルケレドモ、  
生産者ノ身ニナリ、生産者ノ二十年ノ  
努力シタアトラ色々返ツテ考ヘテ  
ヤラナケレバ、如何ニ助成方法ヲ講ジマ  
シテモ、生産意欲ハ必ズシモ出ルトハ  
思ツテ居ナイ、根本的ナ造林ノ愛護ト  
云フコトヲ指導者、監督者ガ考ヘテ居  
ラナイト、生産者ト雖モ三十年、五十  
年ノ相當長期ニ互ル目標デ造林シテ居  
リマスカラ、ソレヲ中途デ伐採スルト  
云フコトハ已ムヲ得マセヌガ、或ル程  
度間伐、擇伐ヲシテ、殘ツテ居ル部分  
ノモノガ、五年、十年スレバ又相當ノ

積才數量モ出ルト云フコトカラ、サウ  
云フコトモ私ハ考慮スル必要ガナイカ  
ト思フノデアリマス、先ツ當局ノ御意  
見ヲ承ツテ置キタイと思ヒマス

○長野政府委員 戰爭ノ深刻化ニ伴ヒ  
マシテ、勞務資源ガ殆ド底ヲ突イテ居  
リマス今日ノ現狀ニ於キマシテ、特ニ  
農林勞務資源ガ或ハ一面農產物ノ方  
面、或ハ一面又山林方面ト競合致シマ  
シテ、其ノ間ノ調整ガウマク付イテ居  
ナイ關係カラ、ソレハ、増産ニ支障ヲ  
來シテ居ル事柄ハ只今御指摘ニナリマ  
シタ通りデアラウト考ヘテ居リマス、  
此ノ點ニ付テハ政府ニ於テモ速カニ適  
當ナル施策ヲ講ジテ、斯様ナコトノナ  
イヤウニ致シタイと思ツテ折角只今研  
究中デゴザイマス、後段御述べベニナリ  
マシタ點ニ付キマシテハ全然御同感デ  
アリマシテ、今御指摘ニナリマシタヤ  
ウナ方針ニ付テ、是ハ國ノ方針トシテ  
中央地方ヲ通ジテ、ソレハ、責任當局  
ニ對シテ左様ナ方針ニ進ムヤウニ處置  
致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デア  
リマス、御承認ヲ願ヒタイと思ヒマ  
ス

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○松浦(周)委員 色々細カシイコトヲ

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○松浦(周)委員 色々細カシイコトヲ

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

○鈴木(一)政府委員 只今參與官御述  
ベニナリマシタ點ニ補足致シマシテ、  
私カラモ一應御答ヘラ申上ゲテ置キタ  
イト存ジマス、第一點ノ勞務ノ調整ノ  
問題デゴザイマスガ、御話ノ通りノ問  
題ガ各地ニ起キテ居ルト思ヒマス、尙  
ホ之ニ對シマシテ最近林業要員制度ト  
云フ勅令ノ御制定ヲ仰グベカリニナツ  
テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリ  
マスノデ、是等ノ機會ニ更ニ一歩前進  
スルト云フ意氣込デゴザイマスガ、此  
ノコトヲ豫期致シテ、既ニ林業報國隊  
ヲ市町村ヲ單位ニシテ一ツ結成シテ實  
ハウト云フ指導方針ノ下ニ、昨年ノ十

一月デシタカ各地方廳ニ通牒ヲ發シマシテ、其ノ結成ヲ見テ居ル次第デゴザイマス、是ハ市町村長ガ隊長ニナリ、薪炭ノ方面ニ當ル人達、或ハ木材伐採ニ當ル人達ト各、分野ヲハツキリ班別ニ致シマシテ、其ノ時期々々ニ應ジテ隊長ノ命令ニ依ツテ勞務ノ調整ヲ取り、山村學ヲ無敵ノナイヤウナ林業生産ニ挺身シテ獻クツ云フ組織ヲ設ケタ次第デアリマス、之ニ依ツテ林業要員制度ガ確立シ、ソレ等ノ人達ハ徵用ハ免除サレル、林業要員ト云フ立派ナ名稱ガ與ヘラレテ、安心シテ山ノ作業ニ從事スルト云フ體制ニナレバ、表裏一體トナリ、此ノ調整モ相當圖リ得ルト云フ體制ニナラウカト存ズルノデアリマス、現在サウ云フ方向デ進ンデ居ルコトヲ申上ゲテ、今後更ニ調整ニ付テモ十分徹底ヲ期シテ参リタイト存ジテ居リマス、第二點ノ幼齡林ノ伐採ニ付テ、戦局ノ現段階カラ申シテ洵ニ御氣ノ毒デハアルガ、兎ニ角伐ツテ賣ヒタイト云フコトデ、國家ノ要請ガ如何ニモ冷酷ナヤウナ結果ヲ來シテ居ル點ハ御指摘ノ通りデアリマシテ、是等ニ對シマシテハ今回ノ税法改正ノ中ニ、山林所得ニ付テサウ云フ部面ヲ考慮致シタ結果、例ノ臨時租稅措置法ノ方デ山林所得ニ對スル控除ガアリマスガ、其ノ控除率ヲ從來百分ノ三デアリマシタノヲ百分ノ五ニ致シ、伐ツテ參レバドウセ幼齡林マデ食込マナケレバナラヌ、サウ云フ人達ハ實ニオ氣ノ毒デアリマスカラ、セメテ控除額デモ多クシテ差上ゲヨウト云フコトカラ、租稅法規ノ改正ヲ御願ヒ致シマシテ、既ニ衆議院ハ通過シ、貴族院モ大體委員會ハ濟ンダヤウデアリマス、固ヨリ幼齡林ノ伐採ニ付テ税法ノ輕減ヲ圖ツタカラト云ツテ、

我々トシテ之ニ満足シテ居ル譯デハ毛頭ナイノデゴザイマシテ、是等ニ對シテ何等カノ措置ヲ致シタイト云フノデ豫算研究致シテ居リマスガ、其ノ實行方法トシテ中々問題ガ難カシイノデ、ドウ云フ風ニ致シタラ宜イカト云フコトヲ目下檢討致シテ居リマス

○岡本(馬)委員 只今參與官及ビ局長カラ御明答ヲ得マシ、私共相當心丈夫ニ考ヘテハ居リマスガ、机ノ上デ考ヘ計畫シタコトガ必ズ其ノ地方ノ實情ニビツタリ當嵌ツテ運営ガ出來ルカ出來スカト云フコトニ付テハ、中々計畫通りニハ行キニクイノデアリマス、取分ケ森林ノ造成ニ付テハ、農業要員ノ確保ト同ジク、造林要員ノ確保ハ出來テ居リマスケレドモ、現在ノ段階デハ恐ラク要員其ノモノガ得ニクイト思フ、此ノ計畫通り行ケバ何等問題ハナイガ、決戦下ノ此ノ段階ニ於キマシテ中々容易ニ出來ナイト私ハ思ヒマス、地方長官ニ通牒ヲ出シマシタ所ガ、地方長官ガ直チニ此ノ問題ヲ市町村ニ命ジテヤルトシテモ、ソコニ自ツト非常ナ關係ヲ及ボスノデアリマス、食糧増産ノ今日、麥ノ手入レハ早クヤラナケレバナラヌト云フ一面、現在木炭ノ生産ト伐採ニ全力ヲ擧ゲネバナラヌ、ソコニ季節方ニ一緒ニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係ニ於テ靜カニ考ヘテ見ルニ、更ニノ根本的ニ考ヘテヤラナイト、造林ハ恒久的ノ仕事デスカラドウシテモ後廻シニナルト云フハ自然デアルト思ヒマス、伐採面積ト造林面積トソコニ食糧ヒガ出來ルノハ當然デアリマス、併シナガラ一朝風水害ガアリマシタラバ、其ノ農耕地ニ及ボス影響ハ甚大デアリマスカラ、サウ云フ所モ勘案致シマシテ、市町村並ニ市

町村農業會ハ綜合的ニ考ヘテ自治的ニ研究ハシテ居リマスケレドモ、ソコニ自ツト二ツノ團體ガアツテ、村長ガ農業會長ヲ兼ね、森林組合長ヲ握ツテシマツテ居ルト云フコトニナレバ或ル程度ノ威力ヲ發揮シ、仕事ノ調整ガ出來マスケレドモ、指導團體アル中心ニナルモノガ分レテ居リマス、相當困難性ガアルノデアリマス、サウ云フコトモ將來御考ヘ下サイマシテ、勞務ノ調整ニ一段ト御努力ヲ御願ヒシテ置キマス、又造林伐採ノ件ニ付キマシテモ局長ガ申サレタ通りデアリマスガ、私共實際其ノ仕事ニ當リ奮勵ヲシテ行キマスルト、容易ニ計畫通りハ實施ガ出來ニクイノデアリマス、サウ云フ點モ特ニ將來御考ヘ下サイマシテ、生産者ノ身ニナリ、側ニナツテ總テ御監督、御指導ヲ特ニ此ノ際御願ヒ申シテ置キマシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○松浦(周)委員 今度林業勞務ニ要員制度ガ決マリマシテ、是ハ主トシテ伐採方面ニ重點ガ置カレテ居ルヤウデアリマスガ、造林ノ方面ニ對スル要員ニ付テハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ、ソレカラ林業勞務ガ決マツテモ、唯伐採ノ方デケニ重點ガ置カレテ、造林ト製材方面ガ疎ンゼラレテ居ルカノヤウニ存ジマス、製材ノ方面ノ關係ニ付キマシテハ全然此ノ要員制度ガ省カレテ居ル、特ニ勞務ニ代ル電力ノ關係ニ於キマシテモ、第二種ノ乙ニナツテ居リマシテ、非常ニ都合ガ悪いノデス、此ノ點ニ對シマシテハ特ニ一ツ局長ノ英斷ヲ以テ少クトモ第一種ニシテ、電力其ノ他ガ自由ニ供給ヲ受ケラレルヤウナ制度ニシナケレバ、伐採シテ丸太ダケ出テモ、製材ガ出來ナケレバ供給ス

ルコトハ出來マセヌ、是ダケハ一ツ此ノ法案ニ直接關係ハアリマセヌケレドモ、局長ガ御出席デゴザイマスカラ、茲ニ局長ノ信念ヲ述べラレテ、今後ドウ云フ方法ヲ御執リニナルカ、造林勞務ト製材勞務ニ付テ確保サレタイ、此ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○鈴木(一)政府委員 只今、今回發布ヲ見ント致シテ居リマス林業要員制度ノ、此ノ種類ノ中ニ造林ト製材ノ要員ガ入ツテ居ルカドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、造林モヤハリ是ハ山村ノ勞務デゴザイマシテ、今我々ノ方デ要員トシテ考ヘテ居リマスノハ、大體九十日以上山デ働クコト云フデゴザイマスノデ、造林トシテ九十日以上山デ働カレテ居ルト云フコトデアリマスレバ、造林モ勿論此ノ要員ノ中ニ入り得ルモノト存ジマス、御承知ノヤウニ實際ニ植林ヲ致シマス際ニハ、勞務ノ大部分ハ女子供デアルトカウツタヤウナ勞務ガ多イノデゴザイマシテ、植林シタ後撫育ヲ致シマス際ニハ按本ヲスルトカ、始終造林ノ爲ニ山ヲ廻ケ廻ツテ貰フ人達ハ勿論此ノ要員ノ中ニ指定ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ製材ノ點デアリマスガ、製材ノ方ハ多クノ部面ガ製材工場ト云フ所ニナリマスノデ、製材工場ニモ色々大小ゴザイマスガ、今回ハ林業要員トシテハ製材工ハ入ラナイト云フコトニ一應致シテ居リマス、是ハ片手落デハナイカト云フ御話モ御尤モト存ジマスガ、今回林業要員制度ト同時ニ審議會ヲ開キマシテ、勞務員體制確立ト云フ勞動員令ノ關係モゴザイマシテ、工場ト云フ面ニ働ク人ハソチヲノ方デ要員ヲ確保シテ行クト云フ途ガ出來テ居リマスノデ、林業要員ト云フ名前ダケハ取ツタ譯デゴザイマカ、

趣旨ニ於キマシテハ林業要員ト同様ニ我トシテハヤル積リデアリマス、隨ヒマシテ現在製材工場デ働イテ居ル人ハ必ズ確保スル、更ニ徵用ニ掛ツタ人達モ解除シテ、製材工トシテ復歸サセルト云フコトマデ考ヘテ居リマス、ソレカラ電力ノ點デゴザイマスガ、是モ御話ノ點洵ニ御尤モデアリマシテ、我々ノ方モ只今運通省方面ト交渉シテ居リマス、御期待ニ副フヤウニ折角努力中デゴザイマス

○三善委員 伐採地跡ノ造林ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ餘リニ明瞭デアリマスガ、本法ヲ實施スル上ニ付キマシテハ豫算ガ伴ハナケレバナラヌト思ヒマスノデ、此ノ點ハ特ニ大藏當局カラモ十分意見ヲ聽カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、其ノ基礎ニナル數字ハ此ノ際明瞭ニシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、本法ノ狙ヒドコロトシマスノハ、先程提案者ノ説明ニモアリマシタ通り、造林ガ二十萬町歩、自然造林三十萬町歩ヲ大體目標ニ取ツテ居ラレルヤウデアリマス、ソコデ先程山林局長カラ十二年以降ノ民有林ノ造林ダケハ御話ニナリマシタガ、伐採ノ點ガマダ明瞭デナカッタヤウデアリマス、之ヲ一ツ明瞭ニシマシテ、十二年以降伐採ト植林トガドウ云フ風ニナツテ居ルガ、又民有林ト國有林トハドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ明カニシテ置カヌト、二十萬町歩トカ三十萬町歩ト云フ數字ヲ決メル上ニ付キマシテ、聊カ其ノ基礎ノ上ニ十分デナイト思ヒマスノデ、ソレヲ一ツ明瞭ニシテ貰ヒタイト思ヒマス、ソレトモウ一ツハ民有林ノ植林ニ對シマシテハ、一町歩當リノ造林費トシテ百二十圓ヲ基準トシテ豫算ヲ取ツテ居ラレマ



スガ、國有林ハ造林費ヲ一町歩二百五十圓ト決メテ居ラレ、ドウ云フ譯デ民有林ハ二百二十圓トシ、國有林ハ二百五十圓ト認メテ居ラレカ、ドソナ所ニ相違ガアルノデセウカ、若シ二百五十圓ガ必要デアルトスレバ、民有林モ二百五十圓トシテ基準ヲ設クル必要ガアリハシナイカ、此ノ點ガ明瞭ニナリマセヌト、大藏當局ノ説明ヲ聴ク上ニ付キマシテモ十分ノ點ガアルト思ヒマスノデ、之ヲ一ツ明瞭ニシテ貰ヒタイ

尙ホ、是ハ内務當局ダケデモアリマセヌガ、國トシテ考ヘル時ニ、昭和十二年以降段々災害ガ多クナツテ來タ、是ガ山林ノ荒廢ノ結果ヲ來スト云フコトハ餘リニモ明瞭デアリマスガ、其ノ爲ニ、是ハ勿論天候ニモ依ルコトト思ヒマスケレドモ、大體括總的ニ考ヘテ災害ガ多クナリ、其ノ爲ニドレダケノ國費ガ費エテ居ルカト云フコトヲ、内務省バカリデナク、國全體トシテ其ノ損害ガドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フコトヲ、或ハ農作物ノ災害、或ハ人畜ノ被害ナドモ併セテ御考ヘ願ハナケレバナラヌト思ヒマス、斯様ナコトガ明瞭ニナツテ初メテ本法デナケレバカストカト云フ最後ノ斷案ヲ下スコトガ出來ルト思ヒマスノデ、是ハ一ツ速急ニ、今御分リニナラナケレバ午後マデニ御調ベヲ願ツテ御返答願ヒタイト思ヒマス

○鈴木(一)政府委員 第一點ノ森林ノ伐採面積デゴザイマスガ、十三年カラノゴザイマスノデソレヲ申上デマス、國有林ト民有林ヲ兩方合セテ十三年ハ四十七萬町歩、十四年ハ五十一萬町歩、十五年ハ五十四萬八千町歩、十六年ガ六十四萬七千町歩、十七年ガ七

十二萬二千町歩、十八年ガ七十三萬町歩デアリマス、是ダケガ伐採面積ニナツテ居リマス、ソレカラ先程ノ造林單價ノ問題ニ付キマシテハ説明員カラ説明致サセマス

○三善委員 國有林ト民有林トノ區分ハ分リマセヌカ

○鈴木(一)政府委員 國有林ハ其ノ中デ十三年ハ、四十七萬町歩ノ中九萬町歩、十四年ハ、五十一萬六千町歩、十五年ハ、五十四萬九千町歩、十六年ハ、五十六萬四千町歩、十七年ハ、五十八萬九千町歩、十八年ハ、六十二萬町歩トナツテ居リマス、其ノ残りガ民有林デアリマス

○花田説明員 政府委員ノ補助ト致シマシテ説明致シマス、民有林ノ豫算ノ基準單價ハ色々アリマスガ、人工植栽ハ二百二十圓デアリマス、ソレカラ天然下種補整ト申シマスノハ六十九圓ニナリマス、ソレカラ人工下種ト云フノハ、六十圓ノ基準單價ニナツテ居リマス、ソレカラ國有林方面ハ二百五十圓ト申シマシタガ、ソレハ實行ノ結果、現在要シテ居ル費用ガ二百五十圓デアリマシテ、豫算單價ハ非常ニ區々デアリマシテ、昭和ノ初メカラ繼續費ヲ取ツテ居リマスノデ、或ル時ハ百圓ニナリ、或ル時ハ五十圓ニナリ、七十圓ニナルト云フヤウニ區々ニナツテ居リマス、現在ハ植付費トシテ二百二十圓ニナツテ居リマシテ、其ノ他ニ國有林ノ方ハ、苗圃ヲ經營シテ居リマシテ、苗圃ノ費用ト致シマシテ苗木ヲ育成シテ居ル其ノ苗木代ガ、一町歩當リ八十圓程度ニナツテ居リマス、其ノ他ニ共通費ガ五十圓トナツテ居リマシテ、加ヘテ二百五十圓ト云フ實行單價ニナツテ居リマシテ、豫算トシテハ、植付費ハ二百二十圓程度ニナツテ居ルデアリマス、其

ノ點ハ民有林ト餘リ差ハナイノデアリマシテ、官行造林費ノ如キニナリマスレバ、人工植栽費ハ五十二圓ノ單價ニナツテ居リマス、其ノ他ニ苗圃費トシテ別ニ組ンデアル譯デアリマス、ソレダケ附加ヘテ申上デテ置キマス

○木下委員 花田技師ニ御注意申上デテ置キマスガ、發言ノ時ニハ、委員長ノ許可ヲ得テ發言シテ戴キタイ

○三善委員 先程申シマシタ災害ニ因ル被害ノ程度等ニ付キマシテハ、是ハ後刻全部ノモノヲ纏メテ御答辯願ヒタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ、委員長カラ一ツ御確カメ願ヒマス

○木下委員 内務省ヤラ各省トノ關係モアリマセウガ、今日ハ午後ノ中ニ成ベク早ク御回答願ヒタイノデスガ……

○武知政府委員 承知シマシタ

○松浦周(委員) 提案者ノ説明及ビ政府當局ノ最近ニ於ケル森林情勢、造林關係ナド色々質問致シマシタガ、特ニ内務省國土局長ニ於テハ、年々斫代ノ均衡ヲ失シタ爲ニ災害ガ著シク頻出シタト云フ御言明ガアツタノデゴザイマスガ、此ノ際私共本案提出者ト致シマシテ、斯カル國土保安上重大ナ問題デアル森林造成ニ對シマシテ、内務當局ハ如何ナル考ヘヲ御持テデゴザイマスカ、本法案ニ對シマシテ、我々ハ何處マデモ之ヲ通シテ國土保安ヲナシ、百年ノ計ヲ立テナケレバナラヌ根幹デアルト思フノデアリマスガ、併シソレガ勞務狀況其ノ他ノ關係ニ於テ、戰時中即行スルコトガ出來ナイト云フコトカラ、茲ニ國家ノ將來ヲ考ヘ、日本國土保安ノコトヲ考ヘテ提案シタノデゴザイマスガ、内務當局並ニ農商當局ノ本案ニ對スル御意見ヲ御伺ヒシタイト思

ヒマス

○長野政府委員 便宜私ヨリ先ニ御答ヘ致シマス、只今御審議ニナツテ居リマスル戰時森林資源造成法案ニ對スル政府ノ所見ヲ申上デタイト存ジマス、我が國ノ森林資源ガ、戦力増強上不可缺ノ軍需資材トシテ、現ニ大東亞戰爭完遂上非常ナル寄與ヲ致シテ居リマスルコトハ顯著ナル事實デアリマス、而シテ其ノ跡地ニ對シテ直チニ造林ヲ行ヒ、森林資源ノ培養ト、國土ノ保全ヲ圖リマスルコトハ、最も大切ナコトデアリマス、隨テ是ガ爲ニ山林所有者並ニ國家ガ一體トナリマシテ、適當ナル措置ヲ講ジマスルコトハ、極メテ喫緊ノコトデアリマシテ、是ガ爲ニ本法ノ目的ト致シマスル所ノ趣旨ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテモ、何等反對スベキ點ハアリマセヌ、寧ロ私共ト致シマシテハ、只今色々此ノ法案實施ノ結果ニ付テノ御意見モアリマシタガ、御指摘ニナリマシタ如ク、勞務ノ調整等ニ付テ遺憾ナキヲ期シマスルナラバ、是ト相俟ツテ相當期待スベキモノガアルト信スルモノデアリマス、併シナガラ此ノ法案ニ付キマシテハ、他ノ法律ニ及ボシマスル影響並ニ豫算ノ措置等ニ付キマシテ、マダ政府内部ニ於キマシテ、協議ノ纏ツテ居ラヌ點モアリマスノデ、直チニ之ニ對スル賛否ノ意見ヲ此處デ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、此ノ法案ノ兩院ニ於ケル審議ノ經過ト伴ツテ、内部ノ協議ヲ進メテ行キタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○武知政府委員 斫伐不均衡ノ爲ニ最近災害ガ頻發シテ居ル云フ國土局長ノ御話モゴザイマシタガ、全ク其ノ通りデゴザイマシテ、私ハ治山治水ノ根

本ハ森林ノ造成ニアリト考ヘテ居リマス、仍テ農林當局ト所見ヲ同ジウスルモノデアリマス

○三善委員 先程ノ説明員ノ御話ノ中デ御總キシナケレバナラヌ點ガアルノデアリマスガ、此ノ造林費デゴザイマス、國有林ノ豫算ハ植栽費用ガ二百二十圓デアツテ、苗圃費トカ其ノ他デ二百五十圓ニナルト云フ御答辯ノヤウデアリマシタガ、二百二十圓デ一町歩出來マスカ、實際ノ費用ハ幾ラ要ツテ居ルカ、豫算ハ二百二十圓デアツテモ實際ノ費用ハモツト多クナツテ居リハシナイカト思ヒマスガ、ソレハドンナモノカ御分リニナツテ居リマスカ、若シソレガ御分リニナツテ居レバ、一體勞務費ガ一町歩ニ何人必要ツテ、ドノ位ノ單價ニナツテ居ルカラ御答(願)レバ結構ダト思ヒマス

○花田説明員 國有林ノ造林費二百二十圓ト申シマシタガ、是ハ豫算ノ單價ガサウナツテ居リマス、ソレデ苗圃ノ方デ八十圓、其ノ他共通費トシテ五十圓ト申上ゲマシタガ、ソレヲ一括シテ二百五十圓、其ノ範圍デ造林シテ居ルノデアリマシテ、詰リ其ノ運用ニ俟ツテ居ル譯デアリマス、國有林ノ方デハ人夫費ハ三圓程度出シテ居リマス、是ハ地元ノ委託林關係モアリマシテ、地元ノ方ヲ使フ關係上非常ニ安い單價ニナツテ居リマス、苗圃ニ於キマシテモ二圓五十錢ト云フ單價ノ勞務者ヲ使ツテ居リマス、サウシタ關係デ非常ニ安く行ツテ居リマスノト、人工植栽ノ所ハ伐採跡ニ直グ植エマス爲ニ、地帯ヘノ費用ガ非常ニ安く上リマスノデ、百二十圓見當デ出來ルコトニナツテ居リマス

○三善委員 今ノ御説明デハ全部デ二百五十圓デアツテ、其ノ中ニハ植付費

百五十圓デアツテ、其ノ中ニハ植付費

苗圃費其ノ他モ入ツテ居ル、ソレハ豫算デ百二十圓ト決メタケデ、豫算ノ運用ニ付テハ其ノ點ガ百二十圓ヨリ高クナルカ分ラヌト云フ  
○花田説明員 其ノ通り御考ヘ下サツテ宜イト思ヒマス  
○木下委員長 ソレデハ是デ暫時休憩致シマシテ、午後二時カラ開會致スコトニ致シマス  
午後、臨時十三分休憩、

奉公組織ト云ツタヤウナモノモ此ノ時局ヲ乘切ル爲ニ、又斯ウシタ造林ト云ツタヤウナコトヲ實行致シマス上ニ付テモ、非常ニ重要デハナイカト云フヤウナ觀點カラ、一、二御伺ヒシタイト存ジマス、昨日ノ勝田氏ノ質問ニ對シマシテ、總理ハ熱意ヲ以テ新政治組織ノ實現ニ協力スル、而シテ政府ノ措置スベキコトハ、相當思ヒ切ツテ斷行スルト云フ風ナ答辯ガアツタノデアリマスガ、其ノ具體的措置ニ付キマシテ、私ハ以下若干御伺ヒシタイト思フノデアリマス  
第一ニ我々翼贊政治會ノ主張ト致シマシテハ、新政黨組織ニ關シマシテハ、此ノ際翼贊ハ勿論ノコト、翼贊會モ、翼壯モ、三者ガ解體シテ皆裸ニナツテ、サウシテ舊來ノ行掛リヲ一掃シテ大同團結ヲシテ行キタイト云フ所ニアツタノデアリマスガ、政府並ニ大政翼贊會及ビ翼壯ト云ツタヤウナ方面ニ於テハ、之ニ御同意デナイヤニ聞イテ居ルノデアリマスガ、其ノ邊ノ經緯ハ如何デアリマスカ、若シ御同意デナイトスレバ、其ノ理由ハドンナ所ニアリマスルカ、御伺ヒシタイト存ジマス  
○緒方國務大臣 只今ノ堀内委員ノ御質問ニ私カラ御答ヘスルノガ、適切デアリカドウカ存ジマセウガ、參ツテ居リマスノデ、私ノ御答ヘシ得ル程度ニ於テ御答ヘ申上ゲマス、昨日勝田氏ノ質問ニ對シテ總理ガ答ヘラレマシタ意味ハ、新シイ政治團體ガ所謂官製的モノデナク、盛リ上ル國民ノ氣魄ニ應ヘテ出來タ場合ニ、ソレニ呼應シテ政府トシテ處理スベキモノハ、思ヒ切ツテ處理スルコト云フヤウナ意味ノ言葉ヲ使ハレタヤウニ存ジマス、其ノ言葉ノ意味ハ、私想像致シマスルニ、今堀内委員ノ御話ニナリマシタ翼贊會、或ハ翼壯、是ハ本來政治團體デハナイノダ、隨テ此ノ新シイ政治團體ガ、生レル場合ニ、其ノ政治團體ヲ政府側カラ何等カノ出來ルダケノ育成、出來ルダケノ方法ヲ講ジテ行ク、ソレニ付テ必要ガアレバ、政府トシテハ思ヒ切ツテ處理ヲシテ行クト云フコトハ、翼贊會或ハ翼壯ガ、其ノ政治團體ノ育成ニ若シテ、其ノ所ノ處理シテ行キタイ、

持デ以テ答辯サレタモノト了承致シテ居リマス  
○堀内委員 次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、今ノ御答辯ニモアリマシタコトデアリマスガ、翼贊會及ビ翼壯年團ノ處置ヲ、先程申シマシタヤウナ趣旨ニ於テ解體シテ行クコトヲ適當トスルト云フヤウナ觀點ヲ我々ハ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ依然トシテ殘サレルノカ、廢止スルノカ、殘スト致シマスレバ、是ハ其ノ儘殘シマスカ、改組サレルトデアリマスルカ、又改組致サレルト致シマシタラバ、其ノ方向ハ之ヲ所謂精神總動員ノ方面ニ沿ツテ改組サレマスルカ、職域奉公の方面ニ、例ヘバ產報トカ商報トカ云フヤウナ筋ニ沿ツテ改組サレマスルカ、尙ホ改組致サレルト致シマスレバ、ソレハドウ云フヤウナ時期ニ於テ御考ヘニナリマスルカ、具體的年月ヲ御伺ヒスル譯デハナイノデアリマシテ、例ヘバ翼贊政治會ノ主張シテ居ルヤウナ政黨ガ出來マスル場合ニ、ソレト相呼應シテ、ドウ云フ風ニ行クカト云ツタヤウナ點ニ對スル御考ヘヲ御伺ヒシタイト存ジマス  
○緒方國務大臣 新政治團體ノ結成並ニ之ニ付テハ政府ノ執ルベキ諸般ノ措置ニ付テハ、總理大臣ノ答辯以上私ヨリ附加ヘル所ハアリマセウ  
○堀内委員 會テ、總理ガ翼贊會ト翼政トノ關係ヲ申サレタ場合ニ、翼贊會ハ精神運動ノ團體ト云フヤウナ聲明等モアツタヤウニ覺エテ居リマスガ、其ノ邊ノ關係ハドンナモノデセウカ  
○緒方國務大臣 總理ノ言ハレマシタ言葉ヲ適切ニ御説明出來ナイカモ知レマセウガ、總理ガ精神團體ト云フハ意味ハ、政治團體デナイト云フ意味デハレタモノト解釋シテ居リマス  
○堀内委員 今度マデ翼贊會、翼壯ガ數次ノ改組ヲナサレ、又色々指導方針ガ變化シタニ拘ラズ一向ニ其ノ實質ガ變ツテ居ラナイト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソコデ此ノ原因ト云ツタヤウナコトヲ考ヘテ見マスト、色々ナ點ガアリマスルガ、其ノ第一點ト致シマシテ、私ハ名稱ノ問題ガアルノデハナイカト考ヘルノデゴザイマス、ヨク言ハレマスル言葉ニ「名ハ體ヲ表ハス」ト云フコトガ申サレルノデアリマスガ、現在ノ翼贊會、翼壯等ハ、殊ニ翼贊會等ハ其ノ出來上リマシタ時ト現在トハ餘程内容ガ變ツテ居ル、少クモ私ハ翼贊會ノ場合ニ於キマシテモ、第一ノ改組デ政治局ヲ廢止シタ時ニ於キマシテハ其ノ内容ガ餘程遠ツテ來ル、翼贊ト云フ字ハ——今此處デサウ云フコトヲ色々言フモドウカ知レマセウガ、憲法發布ノ上諭其ノ他ヲ見マシテモ、政治ヲ離レタ翼贊ト云フコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、ソノ意味カラ申シマスレバ、政治局ガ廢サレタ時ニ私ハ寧ロ教育勸語ニアリマスル「皇運ヲ扶翼スベシ」ト

云ツタヤウナ、アノ皇運扶翼ト云ツタヤウナ目的ノモノニ變ツタノデアリナイカト思フノデアリマシテ、其ノ時ニ若シサウ云フヤウニ名前ヲ變ヘテ居リマスレバ良カツタノデアリナイカ、現在地方ニ行キマシテモ翼贊會ト翼贊政治會ト何ガ何カ分ラナイ、ソレハ一般ノ人々ガ分ラナイダケデハナイ、中ニ入ツテ仕事ヲシテ居ル人モ分ラナイ、翼贊壯年團ノ如キニ致シマシテモ、政治ニ關係ガナイ、公事結社ト云フコトガ言ハレテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ一部ニハ政治ニ狂奔シテ居ルモノガアルト云フヤウナ事柄ニナツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點カラ考ヘマシテ、私ハ第一ニ名稱ヲ變ヘルト云ツタヤウナ御考ヘガアリマスルカ、此ノ點ヲ伺ヒマス  
○緒方國務大臣 大政翼贊會ガ發足致シマシタ以後、其ノ内容ガ變化シタト云フコトニ付キマシテハ、私モ堀内委員ノ仰セラレマシタヤウニ認メマス、ソレニ付キマシテ御意見モ御意見トシテ傾聴致スノデアリマス、

○堀内委員 我々翼贊政治會ノ方面カラ申シマスレバ、三者皆解體シテシマツテ行ク、無論翼贊政治會ト云ツタヤウナ名前ハ變更スルハ勿論ノコトデアリマスガ、  
○緒方國務大臣 政治新體制ガ出來マシタ上ニ考慮セナケレバナラス問題デナイカト考ヘテ居リマス  
○堀内委員

午後二時二十二分開議  
○木下委員長 午前引續キマシテ開會致シマス、通告ニ依ツテ堀内一雄君  
○堀内委員 先刻委員長ノ發言ニモアリマシタヤウニ、第七十四議會以後、未ダ會テ議員ノ提出シタ法案ガ通ツタコトガナイト云フヤウナ話デアリマス、私ハ斯クノ如キハ國民政治力ガ衰弱デアルコトヲトスルニ足ル一ツノ資料デヤナイカト考ヘルノデアリマス、又サウ云フヤウナ意味ニ於テ先般カラ國民政治組織ノ問題ニ關シマシテ、色々論議サレテ居ルノデアリマスルガ、同時ニ獨リ造林ト云ハズ、木材ノ供出ヲ初メトシテ、諸般ノ事項ガ國民ガ率先シテヤル、所謂國民ガ政府ノ施策ニ打テバ響キ、呼ンダラバソレニ應ヘテ、直グ實踐スルト云フヤウナ組織體ガアツタ時ニ、初メテ實行サレルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ意味ニ於テ、獨リ所謂政治組織バカリデナク、職域

○緒方國務大臣 只今ノ堀内委員ノ御質問ニ私カラ御答ヘスルノガ、適切デアリカドウカ存ジマセウガ、參ツテ居リマスノデ、私ノ御答ヘシ得ル程度ニ於テ御答ヘ申上ゲマス、昨日勝田氏ノ質問ニ對シテ總理ガ答ヘラレマシタ意味ハ、新シイ政治團體ガ所謂官製的モノデナク、盛リ上ル國民ノ氣魄ニ應ヘテ出來タ場合ニ、ソレニ呼應シテ政府トシテ處理スベキモノハ、思ヒ切ツテ處理スルコト云フヤウナ意味ノ言葉ヲ使ハレタヤウニ存ジマス、其ノ言葉ノ意味ハ、私想像致シマスルニ、今堀内委員ノ御話ニナリマシタ翼贊會、或ハ翼壯、是ハ本來政治團體デハナイノダ、隨テ此ノ新シイ政治團體ガ、生レル場合ニ、其ノ政治團體ヲ政府側カラ何等カノ出來ルダケノ育成、出來ルダケノ方法ヲ講ジテ行ク、ソレニ付テ必要ガアレバ、政府トシテハ思ヒ切ツテ處理ヲシテ行クト云フコトハ、翼贊會或ハ翼壯ガ、其ノ政治團體ノ育成ニ若シテ、其ノ所ノ處理シテ行キタイ、

持デ以テ答辯サレタモノト了承致シテ居リマス  
○堀内委員 次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、今ノ御答辯ニモアリマシタコトデアリマスガ、翼贊會及ビ翼壯年團ノ處置ヲ、先程申シマシタヤウナ趣旨ニ於テ解體シテ行クコトヲ適當トスルト云フヤウナ觀點ヲ我々ハ持ツテ居ルノデゴザイマスガ、之ヲ依然トシテ殘サレルノカ、廢止スルノカ、殘スト致シマスレバ、是ハ其ノ儘殘シマスカ、改組サレルトデアリマスルカ、又改組致サレルト致シマシタラバ、其ノ方向ハ之ヲ所謂精神總動員ノ方面ニ沿ツテ改組サレマスルカ、職域奉公の方面ニ、例ヘバ產報トカ商報トカ云フヤウナ筋ニ沿ツテ改組サレマスルカ、尙ホ改組致サレルト致シマスレバ、ソレハドウ云フヤウナ時期ニ於テ御考ヘニナリマスルカ、具體的年月ヲ御伺ヒスル譯デハナイノデアリマシテ、例ヘバ翼贊政治會ノ主張シテ居ルヤウナ政黨ガ出來マスル場合ニ、ソレト相呼應シテ、ドウ云フ風ニ行クカト云ツタヤウナ點ニ對スル御考ヘヲ御伺ヒシタイト存ジマス  
○緒方國務大臣 新政治團體ノ結成並ニ之ニ付テハ政府ノ執ルベキ諸般ノ措置ニ付テハ、總理大臣ノ答辯以上私ヨリ附加ヘル所ハアリマセウ  
○堀内委員 會テ、總理ガ翼贊會ト翼政トノ關係ヲ申サレタ場合ニ、翼贊會ハ精神運動ノ團體ト云フヤウナ聲明等モアツタヤウニ覺エテ居リマスガ、其ノ邊ノ關係ハドンナモノデセウカ  
○緒方國務大臣 總理ノ言ハレマシタ言葉ヲ適切ニ御説明出來ナイカモ知レマセウガ、總理ガ精神團體ト云フハ意味ハ、政治團體デナイト云フ意味デハレタモノト解釋シテ居リマス  
○堀内委員 今度マデ翼贊會、翼壯ガ數次ノ改組ヲナサレ、又色々指導方針ガ變化シタニ拘ラズ一向ニ其ノ實質ガ變ツテ居ラナイト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソコデ此ノ原因ト云ツタヤウナコトヲ考ヘテ見マスト、色々ナ點ガアリマスルガ、其ノ第一點ト致シマシテ、私ハ名稱ノ問題ガアルノデハナイカト考ヘルノデゴザイマス、ヨク言ハレマスル言葉ニ「名ハ體ヲ表ハス」ト云フコトガ申サレルノデアリマスガ、現在ノ翼贊會、翼壯等ハ、殊ニ翼贊會等ハ其ノ出來上リマシタ時ト現在トハ餘程内容ガ變ツテ居ル、少クモ私ハ翼贊會ノ場合ニ於キマシテモ、第一ノ改組デ政治局ヲ廢止シタ時ニ於キマシテハ其ノ内容ガ餘程遠ツテ來ル、翼贊ト云フ字ハ——今此處デサウ云フコトヲ色々言フモドウカ知レマセウガ、憲法發布ノ上諭其ノ他ヲ見マシテモ、政治ヲ離レタ翼贊ト云フコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、ソノ意味カラ申シマスレバ、政治局ガ廢サレタ時ニ私ハ寧ロ教育勸語ニアリマスル「皇運ヲ扶翼スベシ」ト

云ツタヤウナ、アノ皇運扶翼ト云ツタヤウナ目的ノモノニ變ツタノデアリナイカト思フノデアリマシテ、其ノ時ニ若シサウ云フヤウニ名前ヲ變ヘテ居リマスレバ良カツタノデアリナイカ、現在地方ニ行キマシテモ翼贊會ト翼贊政治會ト何ガ何カ分ラナイ、ソレハ一般ノ人々ガ分ラナイダケデハナイ、中ニ入ツテ仕事ヲシテ居ル人モ分ラナイ、翼贊壯年團ノ如キニ致シマシテモ、政治ニ關係ガナイ、公事結社ト云フコトガ言ハレテ居ルニ拘ラズ、依然トシテ一部ニハ政治ニ狂奔シテ居ルモノガアルト云フヤウナ事柄ニナツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點カラ考ヘマシテ、私ハ第一ニ名稱ヲ變ヘルト云ツタヤウナ御考ヘガアリマスルカ、此ノ點ヲ伺ヒマス  
○緒方國務大臣 大政翼贊會ガ發足致シマシタ以後、其ノ内容ガ變化シタト云フコトニ付キマシテハ、私モ堀内委員ノ仰セラレマシタヤウニ認メマス、ソレニ付キマシテ御意見モ御意見トシテ傾聴致スノデアリマス、

○堀内委員 我々翼贊政治會ノ方面カラ申シマスレバ、三者皆解體シテシマツテ行ク、無論翼贊政治會ト云ツタヤウナ名前ハ變更スルハ勿論ノコトデアリマスガ、  
○緒方國務大臣 政治新體制ガ出來マシタ上ニ考慮セナケレバナラス問題デナイカト考ヘテ居リマス  
○堀内委員

○木下委員長 一寸堀内委員ニ御注意

シマスガ、御發言ノ當初ト違ツテ、段段議案ノ問題トノ關聯ガ薄クナツタヤウデアリマスカラ、御注意ヲ願フテ置キマス

○堀内委員

○緒方國務大臣

○堀内委員

○緒方國務大臣

○堀内委員 私人團長ニ御就任ニナツ

タ際ニ、中央ト地方トノ關係ハ從來ノ如ク中央デ指導スルトカ云フコトデナクテ、中央ハ地方ノ各機關ノ連絡ト云ツタヤウナコトニ重キヲ置イテヤルト云フ風ナコト何カノ機會ニ仰シヤツタヤウニ聞イテ居ルデアリマスガ、其ノ邊ハ如何デスカ

○緒方國務大臣 ソレハ別ニ正式ノ所デ申シタコトデハゴザイマセヌ

○堀内委員 次ニ

人事ニ付テノ御考ヘヲ御伺ヒシタイノデアリマスガ、從來數次ノ改組ニモ拘ラズ、翼賛壯年團モ其ノ改組ノ實ガ擧ラナカッタト云フコトニ付キマシテハ、私ハ翼賛ノ其ノ組織ノ根本ニ於テ、原因ガアルノデハナイカト思フデアリマス、御承知ノヤウニ翼賛ハ同志結盟組織デアリマスルノデ、

往々ニ地方ニトグロヲ卷

イテ居ルヤウナ形ニナツテ居ル譯デアリマス、其ノ結果現在ノ地方ノ各團體ト云フモノガ中央ヲ相手ニセヌト云ツタヤウナ狀態ニマデナツテ來テ居ルノデアリマシテ、此ノ人事上ノ缺陷ト申シマスガ、ソレガ現在マデ數次ノ改組ニモ拘ラズ、一向其ノ實ガ擧ラナイト云フコトニナツテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、

其ノ點ニ對シテドウ

云フヤウナ御考ヘヲ御持チデアリマスカ

○緒方國務大臣 御好意ノアル御注意

トシテ承ツテ置キマス

○木下委員長 堀内君ニ更ニ申上ゲマ

ス、先程申上ゲタヤウニ堀内委員ノ質

問ハ議案ト非常ニ關聯ヲ持タクナリ

マシタカラ、其ノ程度デ止メテ戴キタ

イト思ヒマスガ……

○堀内委員 アト一項目ダケ申上ゲテ

カラ止メマスカラ……

○木下委員長 ソレデハ……

○堀内委員 今回ノ翼賛ノ中央ノ幹部

ノ更迭ニ伴ヒマシテ、一部ノ地方團ノ幹部ガ非常ニ蠢動シテ居ルデアリマ

シテ、ソレガ爲ニ一部地方團ノ幹部ガ恣ニ團長會議ヲ要求スル、中央團ニ於

テハ其ノ會議ヲ阻止スル、又一方ノ團

カラハ團長不信任ノ電報ガ來ルト云ツ

タヤウナ、色々ナ經緯ガアルヤニ巷間

傳ヘラレテ居ルデアリマスガ、斯ウ

云フヤウナ問題ハ今日マデ翼賛ノ腐

ナツテ居ルヤウニ考ヘルデアリマス

ガ、私ハ新團長、此ノ際思ヒ切ツテ肅

正サレルト云フヤウナコトガ望マシ

ト思フデアリマスガ、之ニ對スル新

團長ノ決意ヲ御伺ヒシテ私ノ質問ヲ終

リタイト思ヒマス

○緒方國務大臣 色々離レテ居リマス

ダケニ、誤解モアルヤウデシタシ、私

ガドウ云フ意見ヲ持ツテ居ルカト云フ

コトガマダ徹底シテ居ナイ節モ多分ニ

アラウト思ヒマスノデ、或ル機會ヲ以

チマシテ私ノ所信ヲ十分ニ披露致シ

タイト考ヘテ居リマス

○木下委員長 理事會ヲ開ク必要ガア

リマスカラ、暫時休憩致シマス

午後三時四十三分開議

○木下委員長 休憩前ニ引續キマシテ

開會致シマス、緒方國務大臣ヨリ發言

ヲ求メラレテ居リマス

○緒方國務大臣

○木下委員長 暫時休憩致シマス

午後三時四十五分開議

○木下委員長 暫時休憩致シマス

午後四時三十二分開議

○木下委員長 ソレデハ休憩前ニ引續

キマシテ會議ヲ開キマス

○宮村政府委員 先程御尋ネニナリマ

シタ最近ノ災害ノ程度ニ付キマシテ、

數字デ以テ御答ヘ申上ゲマス、内務省

直接關係ノ災害復舊費ト致シマシテ

ハ、昭和十年度ガ八千八百八十餘萬

圓、十一年度ガ二千五百六十餘萬圓、

十二年度ガ二千四百九十餘萬圓、十

三年度ガ九千九百餘萬圓、十四年度ガ二

千八百餘萬圓、十五年度ガ三千七百

餘萬圓、十六年度ガ一億四千五百

餘萬圓、十七年度ガ一億七千二百

餘萬圓、十八年度ガ一億七千七百

餘萬圓、十九年度ハ資料

ガ整ツテ居リマセヌ、以上デアリマス

○鈴木(一)政府委員 前回御尋ネガゴ

ザイマシタ風水害ニ依リマス被害ノ總

額ニ付テ、農商省關係ト致シマシテ農

作物デアルトカ、農耕地デアルトカ、

林野デアルトカノ被害ヲ一括シテ總額

ヲ申上ゲマス、十二年度カラ申上ゲマ

スレバ一億一千五百餘萬圓、十三年ハ

三億六千七百餘萬圓、十四年ガ四千六

百餘萬圓、十五年ガ六千五百餘萬圓、

十六年ガ三億七千二百餘萬圓、十七年

ガ三億五千九百餘萬圓、十八年ガ四億

七億五千七百餘萬圓、十九年度ハ資料

ガ整ツテ居リマセヌ、以上デアリマス

○鈴木(一)政府委員 前回御尋ネガゴ

ザイマシタ風水害ニ依リマス被害ノ總

額ニ付テ、農商省關係ト致シマシテ農

作物デアルトカ、農耕地デアルトカ、

林野デアルトカノ被害ヲ一括シテ總額

ヲ申上ゲマス、十二年度カラ申上ゲマ

スレバ一億一千五百餘萬圓、十三年ハ

三億六千七百餘萬圓、十四年ガ四千六

百餘萬圓、十五年ガ六千五百餘萬圓、

十六年ガ三億七千二百餘萬圓、十七年

ガ三億五千九百餘萬圓、十八年ガ四億

六千餘萬圓ニナツテ居リマス

○木下委員長 何カ他ニ御質疑ハアリ

マセヌカ——ソレデハ御質疑ハ大體終

了ト認メマシタカラ、明後日月曜ノ午

前十時ニ開會致スコトニ致シマシテ、

本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時三十七分散會